

うめナビ

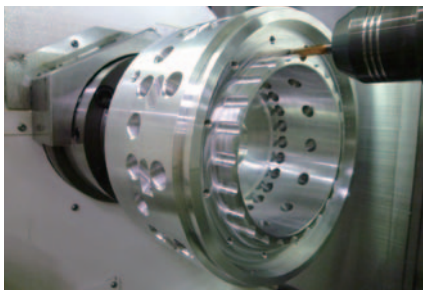
2014.4
Vol.25

都心の自社工場から高品質な部品を即手配！ 「モノづくりは人づくりから」 技術と職人を磨き上げる

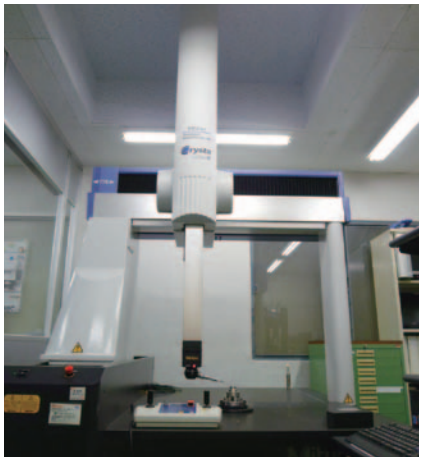
富士精器

創業から79年目を数える富士精器(目黒区碑文谷、藤野雅之社長、03-3715-5401、<http://www.fujiseiki.co.jp>)は、旋盤加工による金属切削加工、精密部品製造を主業として、自動車部品をはじめ、医療機器、半導体、ポンプなど高い精度が要求される多種多様な機械部品を製造している。また、タイ王国の地元工場と直接取引を行い、将来的には現地法人を設立した本格的な参入を計画中という。

輪切りの素材を加工するのが通常の旋盤加工であるが、同社では、棒材からの切削加工を得意としており、最大で直径65mmの棒材を加工することができる。棒材から加工することにより、通常の工法よりもコストを抑えられる。また、写真の製品は、素材に対してすべて垂直に切削されているように見えるが、よく観察すれば、微妙な角度がつけられていることが分かる。これは、複合旋盤とマシニングの融合加工により、一般的なY軸加工ではなく、5軸加工が施されて



φ230の複合加工を施した自動車塗装用産業ロボットの部品



三次元測定機

いるからである。こういった複合的な処理や三次元測定機の導入により、量産品から試作品1個まで、これまで以上に高品質高精度の製品をつくるのが可能となっている。

機械が高度になればなるほど、それを扱う人間にも技術が求められる。同社では、日々のブリーフィングや外部講師を招聘して行う品質管理検討会議において、品質実績の確認、問題発生要因の分析、改善・対策を協議し、品質の向上を徹底的に追求している。併せて、「モノづくりは人づくりから」を行動指針に、熟練工を講師として休日の社内講習会「富士学校」を開いているほか、トリプルR「RESPECT」(他の人の思考・感情・経験に敬意を払う)、「REAL」(本音で意見を出し合って最善の道を導き出す)、「RELATIONS」(より良い人間関係づくりに注力する)を合言葉に、社員全員によるボトムアップを心がけ、より一層社会に必要とされる会社をめざす。

「また行きたい薬局のNo.1へ」 地域の医療機関と連携、 在宅医療のエキスパート

徳永薬局

徳永薬局(稲城市向陽台、徳永愛子社長、042-370-7251、<http://tokunaga-p.jp/>)は、「地域でまた行きたい薬局のNo.1になる」ことを経営理念に掲げ、東京都、神奈川県を中心に41店舗を展開している。

同社の最大の特長は、在宅医療に対する取り組みである。社会の高齢化が進み、医師、看護師、薬剤師が患者の自宅に訪問する在宅医療へのニーズは高まる一方だが、「薬剤師が少ない」、「休日や夜間の対応が難しい」、「無菌設備がない」など課題が多く、積極的に関わっている薬局は少ない。それに対し、

同社は平成22年3月に在宅部を新設。多摩地区を中心に在宅医療を手がけるクリニックと連携し、患者の往診時に薬剤師も同行して患者の自宅での状態を把握し服薬指導などを行う。さらに多摩地区や横浜市、相模原市の4カ所に「在宅センター」という在宅医療専門の薬局を展開し、そのうち2カ所には、薬剤の調合時において微生物混入や異物汚染などを回避するために必要な無菌調剤室を設置している。業界大手を含めても、同社のような取組みの規模とシステムは珍しく「在宅部スタッフのほか、全41店舗の半数以上で、薬剤師が半径10km圏内を365日24時間のオンラインでケアしています」と徳永社長は胸を張る。



訪問調剤薬局支援ツール「ランシステム」



無菌調剤室での作業

同社の実績は医療機関にも認められ、最近では、本来自宅に戻れないような末期がん患者の終末期ケアまで在宅部の薬剤師が担当するほどである。また、平成24年10月には在宅医療と介護事業専門の㈱グロライフを設立して、調剤報酬の報告書や資料作成といった負担の大きい事務をiPadの入力で簡単に処理できるアプリケーション「ランシステム」を共同開発した。さらに、昨年5月には南種子島で太陽光発電事業を開始するなど、環境面からも広く社会貢献に取り組んでいる。

うめナビ 送付先業種												合計 330 先
	商社 13先	スーパー・小売・百貨店 24先	メーカー 18先	マスコミ 59先	教育(大学・専門学校) 31先	公共機関 16先	ホテル 14先	金融 50先	建設関連 20先	システム関連 11先	その他 74先	

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

「東京で一番おいしいクレープを！」 経営発、 自然派クレープ専門店

ナチュラルクレープ

(株)ファーストラックの運営するナチュラルクレープ(世田谷区経堂、佐藤孝治社長、03・3429・9050、<http://nature.com/>)は、小田急線経堂駅より徒歩5分に店舗を構える自然派クレープ専門店である。無添加食材にとことんこだわって、外はパリパリ、中はモチモチ、一口食べれば「ナチュラルクレープの生地だ!」と分かる独特の食感が大人気を博している。



生地からトッピングまで、ナチュラルクレープのこだわりが感じられる

人気の秘訣は、移動販売のワゴンでスタートした10年前から変わらない、無添加手作りの生地&トッピングである。9割以上輸入品の小麦粉が出回る中、国産の小麦粉数十種類から試作を繰り返した結果、「一等小麦「つるぴかり」の使用に行きついた。さらに、5大栄養素がバランスよく含まれた健康食材で「植物のたまご」とも言われる貴重な小麦胚芽も混ぜこんだオリジナル生地が最大の特長だ。もちろんトッピングの生チョコ、

キャラメル、寒天に至るまで手作りにこだわり、牛乳は低温殺菌牛乳のみ、牛乳が苦手な方のためのヘルシーな豆乳クレープも有機大豆のみ、砂糖はてんさい糖のみという徹底ぶりである。

「東京で一番おいしいクレープをめざし、スタップ一同、クレープ作りに真正面から向き合っています。みんなが大好きなクレープを、一段上のステージに押し上げるブランドでありたい。一度食べたらやみつきになりますよ」と佐藤社長は誇らしげに語る。



今年3月にはブランド銀座に出店を果たした。26年度も店舗拡大を大きな目標に、商談会やビジネスマッチングなどにも積極的に参加して、経営発のおいしいクレープを多くのお客様へ届けるため日夜奮闘している。

世界最軽量のCIS太陽光パネル ソーラーフロンティア販売代理店、 売上実績日本一!

日天



笑顔が印象的な同社社員

日天(横浜市港北区新横浜、高瀬和明社長、0120・27・6280、<http://www.niten-solar.co.jp/>)は、平成21年に、昭和シェル販売(現在の㈱ソーラーフロンティア)から直売事業部を会社分割する形で設立された。

同社は、①日々異なる気象条件下でも、安定した「実発電量」の高さ②約6・5mmという薄さのパネルで世界最軽量を実現し、屋根や建物への負担を大幅に軽減③国内大手メーカー最長安心の20年保証:という優れた商品性をもつ太陽光発電システム(CIS太陽光パネル)を主力商品としている。黒猫のCMでもおなじみの商品ではないだろうか。さらに、直売事業部時代から13年にわたって積んだ施工件数4000棟以上の実績とノウハウのもと、お客様に対するより良いシステムプランのご提案、安全な施工、設置後のアフターサービスを行う。法人向けの卸売も取扱っており、小売で得た経験を基盤にキメ細やかなサポート体制を築いている。



アフターケアも丁寧な対応を行っている

「私たちがお届けする製品は、まだまだ多くの可能性を秘めています。導入した皆様が、より豊かに暮らし、快適な生活環境・社会環境を実現するためのお役に立っていると確信しております。当社のお勧めする製品が一層過ごしやすい未来への架け橋になれば、私たちにとってこれほどの喜びはありません」と高瀬社長は熱く語る。

売電制度の見直しや太陽光システム設備設置における特別償却など、再生可能エネルギーの筆頭として太陽光発電システムが注目されている今だからこそソーラーフロンティア販売代理店、売上実績日本一の同社まで、お気軽にお問い合わせください。

地域の食卓、「よこはま地産地消サポート店」 地元の小麦や野菜を活かした 「田奈うどん」が絶品!

居酒屋 スタミナ田奈

居酒屋 スタミナ田奈(横浜市青葉区田奈町、橋本昇店主、045・983・4573)は東急田園都市線田奈駅から徒歩1分、懐かしい昭和の薫り漂う佇まいの店構えである。店主の祖父が同地で焼鳥屋を開業してから約40年、今は、日本料理店で修業を積んだ経験を活かしながら、橋本店主が妻の理恵さんとお店を切り盛りしている。



店主の橋本夫妻



JA 田奈特産の小麦粉を使った「田奈うどん」

人気No.1メニューは、「田奈うどん」。地元田奈の農家が丹精こめて育てた小麦の地粉を使用した細く腰のある麺は、豊かな香りを楽しめる田奈の名物となっている。他にも、地元の畑で獲れた旬の野菜を積極的に活用している。地元生産者こだわりの野菜は、鮮度もよく旨みが強いとお客様にも好評だ。これらの取組みが認められ、同店は横浜市環境創造局より「よこはま地産地消サポート店」に登録されている。また、「色々なお酒を飲み比べて、味の違いを楽しんでもらいたい」と橋本店主が取揃えた、安くておいしい各地の隠れた銘酒を味わえるのも嬉しい。

橋本夫妻の温かな人柄と4歳になる愛娘さえちゃんの明るい笑顔に誘われて、同じ年頃の子供を持つ家族連れから仕事帰りのサラリーマンまで幅広いファンが集まる同店は、賑やかで居心地のよい「田奈のもう一つの食卓」として地域の人々から愛されている。

「人と人の交流を大切に、お店を地域のコミュニティの場にした。そこで地元の食材を使ったおいしい料理を提供していきたい」と、橋本店主は理想の居酒屋像を語ってくれた。店主の温かな気配りが感じられる料理をぜひ一度味わってみてほしい。

詳しくはホームページにて
(<http://sutaminatana.on.omisenomikata.jp/>)

「女性をもっとかわいく」「クーポンランド」などフリーペーパーでニーズを掴む

サイファ

サイファ(千代田区内神田、前越幸次社長、03・5298・4477)は「女性をもっとかわいく」をモットーに、活き活きと社会で活躍する女性向けのメディア事業および商品企画や販売のマーケティング事業を行っている。

「クーポンランド」と「東京ウエディングコレクション」である。

「クーポンランド」は、今年で創刊12年、発行部数は120万部にのぼる。ビューティー情報をメインにグルメや習い事など女性の興味を惹く情報が盛りだくさん、お得なクーポンと合わせて月1回発行し、主に交通機関のラックやコンビニで配布している。

結婚情報誌「東京ウエディングコレクション」は6年前に創刊された。結婚式場やドレス、ジュエリーなどを紹介して、「私もこんな結婚式をしたい!」というイメージを発信し、市販雑誌も多い中、読者からクオリティの高さを評価されている。また、年2回開催しているブライダルイベントは、女性タ



街角で目を引く同社2大誌

フランス菓子伝統のプチガトウ ティータイムコンサートで優雅なひとときを

メーテルリンク

フランス菓子メーテルリンク(横浜市西区岡野、新倉博光社長、045・314・0139)はJR横浜駅西口から徒歩6分、岡野交差点近くにあるフランス菓子店である。新倉社長の祖父が102年前に創業した和菓子店がはじまりで、3代目である現社長がフランスのパティシエの下で修業を積み、昭和49年にフランス菓子店として再スタートした。平成17年にはリヨンの有名洋菓子店ガブリエル・パイアソンと姉妹店となるなど、横浜で約40年にわたり有名なフランス菓子専門店としての地位を築いている。

同店では、プチガトウと呼ばれるフランス料理のデザートとして食べるように考えられた菓子を製造・販売している。フランス菓子伝統のスタイルを大切に守る同店のこだわりは、洋菓子店では一般的なショートケーキ類を製造していかないことからもよく分かる。タルトや焼き菓子を中心に上質な材

料のみを使用し、最近では珍しくなった濃厚なバタークリームなど、一つ召し上がれば満足できるようなしつかりとした風味を丁寧につくり上げる。そんな同店のフランス菓子を求めて、横浜市内はもろろんのこと、都内遠方などから訪れる来店客も数多い。



プチガトウの並ぶショーケース

大田地域に溶けこんだ異国の料理 アジアの味覚を楽しむ エスニックレストラン

ハヌマン

ハヌマン(大田区久が原、サルマ・デーブ・プラサドオーナー、久が原店・03・6410・2448)は、インドで12年、日本で17年の料理経験を持つシェフが、平成23年3月大田区石川台に1号店をオープンしたエスニックレストランである。現在では、石川台店・中延店・久が原店・大井町店の4店舗を経営し、インド・タイ・ベトナムなどのアジア料理を日本人も食べやすいようにアレンジして好評を得ている。

その中でも特に、独自ブレンドのスパイス24種類を効かせ、炒めた国産鶏肉に野菜を加えてまるやかに仕上げたカレーは、本格的な味わいながら日本人の口にもなじむ。一緒にいただくナンもこだわりの炭焼きタンドール釜で焼き上げ、ふっくらもちもちの食感がクセになる。蕎麦屋の建物を改装した久が原店は畳の席もあり、家族連れものんびりとくつろげるアットホームな雰囲気が人気を呼んでいる。

来日15年目のサルマオーナーが「ただ商売をするだけでなく、地域のひとと楽しく関わりながら続ける。」



地域のお祭りに参加!

お子様からご年配の方まで楽しんでいただけるよう、ランチ・ディナーともに豊富なメニューを揃えてご来店をお待ちしている。各店舗へのアクセス・取扱いメニュー・コースなどは、ホームページにて<http://www.hanumanjapan.jp/>

エスニックレストラン **ハヌマン**
eat, drink and take out

石川台店 大田区東雲台2-12-1 ☎03-3729-1159
中延店 品川区東中延2-10-10 ☎03-6426-1889
大井町店 品川区大井町3-6-9 ☎03-6429-8844

検索 予約承ります
久が原駅 ライラック通り5分



お勧めのカレー・ナンセット

製造業の最先端大田区から 品質第一、人財第一 「世界に通じる加工屋」をめざす

東ベ化工(大田区城南島、佐渡谷修治社長、03・5755・6601)は、昭和28年に個人事業から「東京ベイクライト商会」の社名で創業し、日本を支えるものづくり企業として70余年、プラスチック機械加工および成型加工、精密金属加工を主業としてきた。半導体試験装置部品・通信機器部品・医療用機械部品など広範囲にわたる部品加工を得意としており、マシニング加工技術を駆使した多品



作業現場

種小ロットにも対応している。同社工場では「部材入荷↓部材加工↓部品加工↓検査↓出荷」の工程を各セクターに分けて行い、最短で即日、最長でも2週間程度で出荷が可能。特に近年は、競合他社との差別化のため、納期の短縮を図っている。「地球環境を守り、社員の幸福を一番に考える。会社は利潤を上げ、社会に貢献する」を企業理念に、平成16年ISO14001、平成18年にISO9001を認定取得した。

平成19年度の大田区優工場総合部門にも認定され、品質管理、環境へのマネジメント、そして人財教育が徹底されている。「業績不振から、日本の大手メーカーが急速に進めている生産拠点の海外移転の影響は大きく、中小企業の現状は非常に厳しい。既存の市場に囚われず、新たな分野へチャレンジしなければ生き残れない。さらなる海外移転に悩まされるだろう従来の量産勝負の市場ではなく、医療機器や光学機器など高品質・高付加価値が求められる市場をターゲットに営業活動を行うべきである。当社を含め、日本の中小企業は世界一だ。必ず再生の道は開ける。その意味ではとても夢のある仕事であり、夢の実現に向けて頑張っていきたい」と、佐渡谷社長が語る言葉にも熱がこもる。これからも全社員一丸となって「世界に通じる加工屋」をめざし、技術を磨き続ける。

詳しくは、同社ホームページ：<http://www.tohbe.co.jp/>・電話：FAX：03・5755・6606 Eメール：info_tohbe@tohbe.co.jp

東ベ化工

医療・金融業界を支える大田区の町工場 真空ポンプの シェア随一のブランド力



渡邊盛史専務

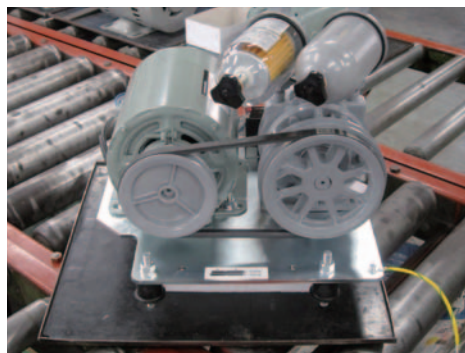
大田区内に2カ所の工場をもつ三津海製作所(大田区東蒲田、渡邊幸一社長、03・3736・4341、<http://www.mitsuvac.co.jp/>)は、真空ポンプやコンプレッサーの開発、製造を行っている。さまざまな顧客の要望に応えるべく、設計図のないところから試作を重ね、組み立てまで手作業で製品をつくり上げていく。

銀行のATMや自動紙幣計算機に使用されている同社の真空ポンプは、瞬時に真空状態をつくり微細な空気圧を制御して1枚ずつ高速で吸い寄せ、紙幣を正確に数えることができる。昭和40年頃に主流だった給油式の真空ポンプでは紙幣が油で汚れてしまう難点があり、約2年かけて炭素繊維のカーボンを使用した無給油式真空ポンプを開発した。当時の大蔵省(現財務省)や銀行に導入され量産化に成功したが、そのカーボン部分の形状が湿度によって伸縮し機械が停止す

るとのクレームを受け、一時は回収・修理に追われるという苦境も経験した。しかし、「他がやらないことをやる」という情熱と確かな技術力に支えられ、取引先など周囲の助力で危機を乗り越えてきた。今では、国内外でシェア60%を占めている。この真空ポンプは形を変えて活躍しており、医療分野では手術中の患者の息から麻酔ガスが漏れ出さないようにコントロー

三津海製作所

ルする役割を果たしている。同製品は実に国内シェア100%を誇り、医療業界を支えている。真空ポンプを小型化することで、歯科医による介護施設などの訪問治療といった用途の幅が一層広がり、医療・介護・IT分野をはじめ今後さらなる飛躍が期待されている。後継者となる渡邊盛史専務は、「開発型企業をめざし、大田区の中小企業の技術力を世界にアピールしていきたい」と力強く意気込みを語ってくれた。



自動紙幣計算機に採用されている真空ポンプ

安全な市民生活を守る消防器具 連結送水管の設置・ 検査に永年の実績!



施設の防火設備に必須の連結送水管

共成産業

共成産業(品川区東品川、辻井健雄社長、03・3472・4705)は、昭和46年の設立以来、市民の生命、財産を守ることを旨とし、安心して設置・使用できる消防器具を取扱う企業として活躍している。

特に、連結送水管(有事の際、消防隊が使用する設備)に関しては、平成14年の消防法改正で耐圧試験が義務付けられるずっと以前(昭和56年)から、消防ポンプ車(検査測定車)を所有し、耐圧試験を行ってきた。この取組みは、都内では同社が第一号の先駆者であり、近隣自治体への指導も行うなど、地域の安全性向上に永年貢献している。

同社の柱となる事業は、以下の3つである。①屋内消火栓の製造・販売。主に新築のビル・マンション



同社所有の消防ポンプ車

ンへの納入・設置を行い、格納箱のサイズや色などの仕様もすべてオーダーメイドで受け付けている。②消火設備(スプリンクラー・泡消火・ガス消火)の設計・施工。ビル・マンション、養護老人ホームなど多様な施設に対応し、今後も、最も安心していただける自動消火設備として需要が見込まれている。③消防ポンプ車による連結送水管の試験・検査。消防ポンプ車には1.5tもの大型水槽が内蔵されており、万一の時に安心して使用できるようフル稼働で検査を行っている。

同社の消防器具は、大手ゼネコン、給排水衛生設備会社および地下鉄などで幅広く採用されており、既存物件の改修工事も多く取り扱っている。もちろん施工には、国家資格である消防設備士の資格を持った社員が当たるので、お客様からの信頼も厚い。

見積もりなどのご用命は、電話：FAX：03・3472・4709 Eメール：kent@kyousei-sng.jpにて。安全・信用第一の同社が責任を持って回答します。